

モスクワ案内

2022年1月

在ロシア日本国大使館

目 次

1. モスクワの略史	1
2. 一般的注意	2
3. 買い物	5
4. 交通	6
5. 市内観光	9
6. 劇場	24
7. レストラン	26
8. 言語事情	31

1 モスクワの略史

モスクワの歴史を振り返るとき、ロシア史やソ連史の全体像を念頭に置きつつ、首都モスクワの変遷を整理しておくと思えます。そこで以下には、ロシア・ソ連史について、「ロシア建国の起源」の時代、「モスクワ帝国」の時代、「ペテルブルク」時代、ソ連時代、1991年8月19日から8月21日のクーデター未遂事件後の「新生ロシア」時代の五つの時代区分で概観しながら、モスクワの略史を御紹介します。

(1) 「ロシア建国の起源」は、9世紀にノルマンの酋長リューリックがノヴゴロド公国（ノヴゴロド市は、サンクトペテルブルクとモスクワの間の、ややサンクトペテルブルク寄りに所在）、キエフ公国（キエフ市は、現在、ウクライナ共和国の首都）を建設したことだとされています。モスクワは、この時点では未だ歴史の舞台に登場していません。

モスクワ村の名前が年代記に初めて登場するのは、1147年。モスクワは、ユーリー・ドルゴルーキー侯により、現在のクレムリンの南西部にあるボロヴィツカヤ塔の付近で産声をあげました。これがクレムリンの始まりで、面積は現在の10分の1でした（「クレムリン」は、ロシア語で城砦の意味。中世には各地でクレムリンが造られました。モスクワのクレムリンがほぼ現在のような銃眼付の壁になったのは、1485年～95年です）。

(2) ロシアは、「タタールのくびき」を経て、15世紀には「モスクワ帝国」の名称で台頭して来ました。

即ち、13世紀のタタール（蒙古人）によるキエフ公国の征服に伴い、ロシア人は各地への移住を強いられました。このうち、モスクワ公国（13世紀に出現）を中心とするロシア人が次第に勢力を固め、15世紀末にはイワン3世がビザンチン帝国の後継者とか「全ロシアの国王」を自称するまでになり、1480年には最終的にタタールの支配を脱しました（「モスクワ帝国」の台頭）。

「モスクワ帝国」時代のイワン4世（雷帝。在位1533～1584年）は、カザンの征服、内政改革等で活躍した他、「ツァーリ」称号の採用、秘密警察機関の設置、アジア的な恐怖政治等でも名を残しています（今日、クレムリンや「赤の広場」を散策する時、様々な場所でイワン雷帝の名前や逸話に出会うことと思えます）。

その後、ポーランドが1610～12年にモスクワを占領しましたが、「赤の広場」の銅像で有名なミーニン、ポジャルスキーらの活躍でモスクワは解放されました。

(3) ロシア史上でも特に注目されるピョートル1世（ピーター大帝。在位1682～1725年）は、強引な西欧化策、対スウェーデン戦争の勝利とバルト海沿岸地域の併合、ペテルブルクの建設と同地への遷都等で有名ですが、彼の治世下で「ロシア帝国」が成立するとともに、首都という観点からは「ペテルブルク時代」が始まることとなります（ドイツ語で「ピョートルの都市」を意味するペテルブルクは、第一次大戦中にはロシア語風にペトログラード、革命後にはレニングラード、クーデター未遂事件後には再びサンクトペテルブルクと改称されました）。

「ペテルブルク時代」のモスクワは、引き続き経済・文化の面で重要な地位を持ち続け、皇帝、貴族等はペテルブルク・モスクワ間を頻繁に往来しました。1755年にはロシア最初の大学

も開設されています（今日のモスクワ大学）。また、1812年にはナポレオン軍によって戦火に見舞われ、モスクワの4分の3が灰になりました。

（4）モスクワは19世紀後半から労働運動の拠点の一つとなり、1905年の革命（不発）、1917年の「ロシア革命」ではペテルブルクとともに主要な革命舞台となりました。1918年3月、レーニンを首班とする革命政府は、帝政時代の名残の強いペテルブルクを避け200年ぶりにモスクワに遷都しました。

第二次大戦では、モスクワ郊外20km余りのところでドイツ軍の侵攻を食い止め、また、爆撃も殆ど免れました。

（5）ロシア革命以後74年間続いた社会主義体制も、遂に終わりを告げる時がやってきました。1991年8月19日から8月21日に、保守派によるクーデター未遂事件が起こり、これを機に同年末ソ連邦は崩壊し、ロシア連邦が誕生しました。

（6）以上の概観を踏まえ、やや大胆なスケッチを描けば、モスクワ史の骨格は、15～17世紀の「モスクワ帝国」時代と革命以後のソ連時代、そしてクーデター未遂事件以降の新生ロシア時代とで構成されています。

2 一般的注意

（1）入国

日本からの国際便は「シェレメーチェヴォ空港ターミナルD」（JAL、SU）に到着します。入国手続きを行うパスポートコントロールでパスポートを提出します。審査時間は一人、3～5分程度、順番待ちに30分から1時間かかる時があります。入国管理官から出入国カードを渡されますので、名前や生年月日等を確認し、間違いがなければサインをして返却します。左半分が切り取られ、右半分がパスポートと一緒に返却されます。（出入国カードは、パスポートコントロールにて入国管理官が自ら作成してくれますので、事前の記入は不要です）受け取った右半分の出入国カードはホテルのチェックインや出国の際に必要なになりますので大切に保持してください。入国手続き後、荷物を引き取ります。その後、税関申告が必要な場合（専門的な機材を持ち込む場合等）には申告書に必要な事項を記入し、レッドゾーンを通り手続きをします。また、申告が必要ない場合はグリーンゾーンを通過します。

税関手続きは注意を要します。ロシアは、法律でロシア通貨及び外貨の持ち出しを制限するとともに、武器類、有害とみなされる出版物・写真等の持ち込みを厳禁しています。違反すれば没収になります。また、電気製品等を必要以上の数量を所持している場合、関税をかけられることもあります。高価な宝石・貴金属も出国時のトラブル防止のため、申告書に記入して下さい。外貨については、10,000ドル以上の外貨（現金とトラベラーズチェックの合計額）を持ち持ち込む際には税関申告書の提出が必要です。（（3）出国の項参照）。このようにして記入した申告書は、それらの持ち込みを証明するためのスタンプが押された上で返却されます。その際には必ずスタンプが2カ所に押されていることを確認して下さい。手続きを終えた申請書は、出国の際に必要なですから、ロシアを出国するまで紛失しないで下さい。

（２）両替・通貨

両替は空港、ホテル内の銀行出張所、街中の銀行及び両替所でできます。両替をする際にはパスポートが必要な場合があります。空港を除いて、日本円が替えられる場所は市中にありませんので、ドルかユーロをお持ち頂くことが望ましいです。

（３）出国

日本への国際便は「シェレメーチェヴォ空港ターミナルD」（JAL、SU）から出発します。なお、吹雪等の場合には、空港の変更もあり得ますので、事前に確認した方が安全です。

チェックイン→税関審査→出国手続きの順で手続きを行います。

申告が必要な場合（持ち出し外貨が米貨10,000ドル相当以上の場合、入国時に申請した専門的な機材を持ち出す場合等）は、レッドゾーンを通り、税関で持ち出し申告をします。入国時と同様の申告書に所持外貨等を記入して提出してください。10,000ドルを超える外貨を持ち出すことは原則として禁止されていますが、入国時に申告がなされているものについては例外的に持ち出しが認められます（その際、入国時に税関職員がスタンプを押した申告書が必要になります。例えば、1,000ドルを持ち込んだことを証する税関申告書があれば、11,000ドルまでの外貨の持ち出しが可能となります）。

ルーブル現金についてはロシア中央銀行のレートで10,000ドル相当までの金額が持ち出し可能です。（2022年1月時点では約750,000ルーブル）

また外貨以外の物品（専門的な機材、高価な貴金属類等）についても、申告書により持ち出し申告します。その際、持ち出し禁制品、持ち出し許可やレシートを要する物品等の規制があり、例えば、①特別に価値のある古美術品は持ち出し禁止、②絵画、骨董品はロシア文化省の許可と関税支払いの証明書が必要、③毛皮等はレシートが必要、④キャビアは一人249グラムまで（それ以上はロシア連邦政府からの許可が必要）です。これらの点については、買い物の段階から御留意下さい。申告するものがない場合（持ち出し外貨が米貨10,000ドル相当以下の場合等）はグリーンゾーンを通ります。

パスポートコントロールでは、パスポートとともに、出入国カードの右半分（入国時に切り取られた残りの部分）及び搭乗券を提出します。

（４）治安、写真、車等

ロシア全土において犯罪登録件数は減少傾向にあるものの、殺人事件、強盗事件数については発生件数が東京と比べ格段に多く、また窃盗など身近な犯罪の発生件数も多いことから、治安情勢は依然として厳しい状況にあります。テロ情勢については、2010年3月のモスクワ地下鉄テロ事件、2011年1月のドモジェドヴォ空港におけるテロ事件以降も、ロシア国内では継続してテロが発生しており、2017年4月にモスクワに次ぐ大都市であるサンクトペテルブルクの地下鉄で爆破テロが発生し、同年12月には同市内スーパーマーケット内で爆破テロが発生しています。また、「イスラム国」はロシアを攻撃目標の一つとして名指ししており、シリアなどから帰還した「イスラム国」メンバー等によるテロの危険性も指摘されています。その他、ロシア人と非スラブ人の若者達の衝突等に見られるように民族間の緊張も収まっておらず、日本人が中央アジア人と間違われて襲撃される等の可能性も否定できません。

ロシアでは、外国人を狙った強盗事件、スリ、置き引き、詐欺、クレジットカードやキャッ

シュカードのスキミング犯罪等が多発しており、日本人も多く被害に遭っています。夜間の一人歩き等は慎む方が賢明です。

写真については、ロシアでは政府関連施設や治安機関施設等の建物内での撮影や、国境地帯から5キロメートル以内の場所での撮影は禁止されています

道路においては、無謀な運転をする車両が多く、交通事故による死傷者数も非常に多いので特に注意して下さい。

車を運転する場合の注意事項としては、以下のことが挙げられます。

1) 道路走行中は歩行者の飛び出しや、追い越し、急な車線変更があります。工事中の道路が多く、車線が無かったり、標識も不明確です。車の整備が不十分で方向指示器、ブレーキランプの故障で点灯しないものも多いです。また、劇場やレストランが終了する時刻には、タクシーを求める人々の車道への飛び出しがありますので十分な注意が必要です。

2) 信号が樹木で見にくい場合や故障している場合がある上、右左折指示矢印がある信号機では、指示矢印が点灯している間のみ右左折が可能です。青信号だからといっても右左折指示矢印が点灯していなければ、右左折をすると違反になります。

3) 道路の舗装率は高いものの保守が悪く、穴が空いていることもあります。パンクに注意して下さい。

4) ガソリンは、通常95か98というオクタン価が高いガソリンを給油する方が無難です。スタンドは日本に比べてサービスが悪く、給油前にレジで支払いを済ませなければいけないスタンドもあります。

5) シートベルトの着用は後部座席にも義務づけられており、子供はチャイルドシートを使用しなければなりません。また、飲酒運転違反者は日本同様に相当高額の罰金が課され、その場で免許没収もあります。

6) 車両の制限速度は、標識で表示されていることが少ないため、周りの車両が高速で走行しているからといって同様の速度で走行するのは危険です。速度測定カメラの設置が多いので、後日罰金の請求があります。また、駐車禁止区域や有効駐車スペース区域が拡大しており摘発も強化されています。

◎トラブルに遭遇した場合の連絡先

領事部（24時間） 8－4 9 5－2 2 9－2 5 2 0

大使館代表（24時間） 8－4 9 5－2 2 9－2 5 5 0

（５）気候

モスクワの冬は、通常11月から3月までで、特に12、1、2月には－25度から－30度になることもあります。入国前に気候を確認し、ゆとりをもって防寒具（外套・靴・帽子等）を御用意下さい。一方、建物の内部では、通常暖房設備が整っています。

水道の水は、石灰分が多く、また、水道管の老朽化に伴い赤濁化することがありますので、ミネラルウォーターを飲まれることをお勧めします。洗面には問題ありません。

（６）その他

一流ホテルを除き、手紙を郵便で出す場合は郵便局で切手を購入し、投函することが必要です（日本までのエアメールの切手代は、はがき・封書（20gまで）共に40ルーブルです）。書

籍については、国外に持ち出す際に許可を要する古書等もありますので、注意が必要です。これ以外の小包は、市内各所にある郵便局で投函出来ます。最近では西側の輸送サービス「DHL」や「EMS」があり、任意の場所で集荷をしてもらうことも可能です。こちらの方が割高ですが確実に簡単です。

元々ロシアにはチップの習慣はありませんでしたが、最近は広く普及しています。特に高級レストランではチップが期待される場合がほとんどです。代金の何割といった決まった基準はありませんが、1割程度までを目安に代金を丸い数字にして支払えばよいでしょう。また、高級ホテルのポーターは荷物1個につき50～100ルーブル程度が相場です。

トイレは、ТУАЛЕТ（トイレ）、М（男性用）、Ж（女性用）等の表示の下、駅内や街中などに設けられています。最近は観光客の多い場所や中心街に有料トイレも設置されるようになりましたが、清潔なものは少ないのでホテルやレストランなどで機会あるごとに頻繁に利用しておくことをお勧めします。

公衆電話は、数少ないですが学校、病院などに設置されています。利用に際してはカードを事前に購入する必要がある、ロステレコムで購入可能です（100ルーブル～）。

3 買い物

（1）土産物は、街中の土産物店や空港免税店等で購入できます。支払方法は、ルーブル現金、またはクレジットカードにて支払います。主要なクレジットカード会社は、VISA、アメリカン・エクスプレス、マスターカードなどですが、最近ではJCBカードで支払可能な店も多く見られます。トラベラーズ・チェックに関しては、一部のホテルでの換金以外、殆ど使えません。1994年1月1日より外貨現金による取引が禁止され、外貨による支払いは受け付けられないこととなっています。クレジットカードは便利ですが、ルーブル現金支払のみの店もありますので御注意ください。買物の際には、両替するための外貨現金（ドル、ユーロ等）と、クレジットカードを併せてお持ちになるとをお勧めします。なお、クレジットカードを悪用した犯罪も多くなっておりますので使用の際はご注意ください。

市内で土産物を買いたい場合は、代表的な場所としては旧アルバート通りの歩行者天国がありますが、特に休日等は人通りも多いため、スリやひったくり等に注意して下さい。さらに最近では民族主義者等による被害に会うアジア人もいるため十分な注意が必要です（旧アルバート通りについては、16頁でも紹介しています）。

なお、ドモジドヴォ空港、シェレメーチェヴォ国際空港の中にも免税店がありますので、割高ですが出国の際にも買物ができます。

ロシアの代表的な土産物としては、次のような物があります。

- ・ 人形（マトリョーシカと呼ばれる入れ子人形）
- ・ 琥珀
- ・ 漆塗りの小箱、ブローチ（パレフ、フェドスキノ等）
- ・ キャビアは一人249グラムまで（それ以上はロシア連邦政府からの許可が必要）。
- ・ ロシア風模様のショール
- ・ ウォッカ、コニャック等酒類（一人2リットルまで持ち出し可）
- ・ ロシアのメーカー（クラスニーアクチャーブリ等）のチョコレート

(2) 次のような買い物の場所を訪れることも一考です。

- ・ **Gum百貨店 (Г У М)**

赤の広場をはさんでクレムリンと向かい合うロシアの代表的なデパート。多くの外資系高級テナントが進出し、ソ連時代とは全く違った様相を呈しています。

- ・ **ツム百貨店 (Ц У М)**

ペトロフカ通りを挟んでボリショイ劇場の向かいにあり、日本のデパートに近い店。

- ・ **ショッピングセンター・アホートヌイ・リャト**

マネージ広場の地下に98年に完成したモスクワ最大の地下ショッピングモール。

- ・ **市場 (Р ы н о к)**

モスクワ市内に30カ所ほどある市場。新鮮な肉や野菜等が比較的安く購入できるが、正札がない場合がほとんどであり、店によってはぼられることもあるので、ロシア語を解さない方には必ずしもお勧めできません。

(3) その他、芸術家や一般市民が物を持ち寄って売る「蚤の市」もお勧めです。

- ・ **イズマイロヴォ公園 (ヴェルニサージ)**

土・日のみ。土産物から生活用品までいろいろ売っています。国内外を問わず大勢の観光客が訪れます。

4 交通

(1) モスクワにある空港は次の通りです。

○シェレメチェヴォ空港

モスクワの北西、市内から車で約1－3時間（渋滞時）。ベラルーシ鉄道駅より直通列車で約35分。旧ソ連時代は第1、第2ターミナルのみであったが、累次ターミナルの新設が行われ、現在5つのターミナルが存在している。日本への直行便としては、日本航空及びアエロフロートが発着している。

- ・ **シェレメーチェヴォ空港Dターミナル**

アエロフロートの国際線・国内線が数多く発着。日本発着便も本ターミナルを使用。

- ・ **シェレメーチェヴォ空港Eターミナル**

上記Dターミナルと下記Fターミナルの間に位置する。アジア、中東、欧州、CIS諸国の一部地域に向かう飛行機が発着。

- ・ **シェレメーチェヴォ空港Fターミナル**

旧第2ターミナルを改称したもの。アジア、中東、北・東欧の一部地域に向かう飛行機が発着。

- ・ **シェレメーチェヴォ空港Bターミナル**

シェレメーチェヴォ空港Dターミナルの北側に位置する、かつての同空港第1ターミナルを改称したもの。市内から車で約1－3時間（渋滞時）。サンクトペテルブルク、沿バルト各共和国等に向かう飛行機が発着空港。

- ・ **シェレメーチェヴォ空港Cターミナル**

上記Bターミナル横の新ターミナル。主にCIS諸国などの短距離線が使用。

○ドモジェドヴォ空港

モスクワの南東、市内から車で約1時間半～3時間以上（渋滞時）。パヴェレーツキー鉄道駅より直通列車で約45分。日本、ロシア極東、中央アジア方面等の便が発着。

○ヴヌーコヴォ空港

モスクワの南西、市内から車で約1時間半～3時間（渋滞時）。キエフ鉄道駅より直通列車で約40分。ロシア極東方面、ウクライナ、中東、コーカサス地方に向かう飛行機が発着。

（2）ロシアの鉄道駅は、行き先別に分かれており、主な鉄道駅は次の通りです。

- | | |
|------------|-----------------------|
| ・ベラルーシ駅 | ミンスク、ワルシャワ、ベルリン方面 |
| ・カザン駅 | カザン、リヤザン、サマーラ、中央アジア方面 |
| ・キエフ駅 | ウクライナ、モルドヴァ、プラハ方面 |
| ・クールスク駅 | ヤースナヤ・ポリャーナ、黒海方面 |
| ・リガ駅 | リガ行き |
| ・レニングラード駅 | サンクトペテルブルク、フィンランド方面 |
| ・パヴェレーツキー駅 | ヴォルゴグラード、ヴォロネジ、サラトフ方面 |
| ・ヤロスラヴリ駅 | シベリア、極東、北京方面 |

（3）モスクワ市内の交通機関には、地下鉄、バス、トロリーバス、路面電車及びタクシーがあります。2013年4月より、公共交通機関は共通の乗車券を使えるようになりました。

地下鉄の路線図はホテルや市内のキオスクで入手できます。地下鉄の運賃は距離にかかわらず一律55ルーブル（2021年1月現在。まとめ買い又はメトロカードの場合は42ルーブルの割引有）です。利用の際は、駅構内にプリペイドカード販売窓口でカードを購入し、自動改札機にカードをかざせば、ゲートが開き、構内に入場できます。エスカレーターに乗ったら、右側に寄ります。左側は急ぐ人のために空けておきます。また、エスカレーターの速度は日本と比べて速いので、乗り降りにご注意ください。

ロシアの地下鉄駅内部は装飾が美しいことで有名です。コムソモールスカヤ、タガンスカヤ、クールスカヤ、マヤコフスカヤ、キエフスカヤ、プローシャジ・レボリューツィア等の駅内部の装飾は見応えがあります。

地下鉄のチケットはバス、トロリーバス及び路面電車でも利用できます。バス、トロリーバス及び路面電車のチケットは運転手から買うことも可能ですが、その場合若干値段が高くなります。切符は車内に備えつけられた改札機にかざし、下車する時まで持っていて下さい。車内では頻繁に検札があります。

タクシーは、市内のタクシー乗り場や路上でもタクシーを拾えますが、乗る前に行き先を告げ料金を交渉しなければならず、また、いわゆる白タクは外国人に高額を請求することが多く、乗車後、強盗被害に遭うケースも発生しているため利用しないでください。空港や鉄道駅への移動に際しては、電話やスマートフォンのアプリ（Get Taxi、Yandex Taxiなど）により、信頼できるタクシー会社に依頼することをお勧めします。ただし、ほとんどの運転手はロシア語しか解しません。

レンタカー会社は数多くあります。タクシー会社・ハイヤー会社（運転手付き）でよく利用されている会社は以下のとおりです。

- ・ビジネスカー（BUSINESS CAR） レンタカー トヨタ車

TEL : 8 - 4 9 5 - 7 2 9 - 3 3 4 9
・ ノーヴォエ・ジョールトエ・タクシー
TEL : 8 - 4 9 5 - 9 4 0 - 8 8 8 8

Moscow Metro, Monorail and Central Circle system map (2018)

* Includes future plans until 2022.



Key to lines

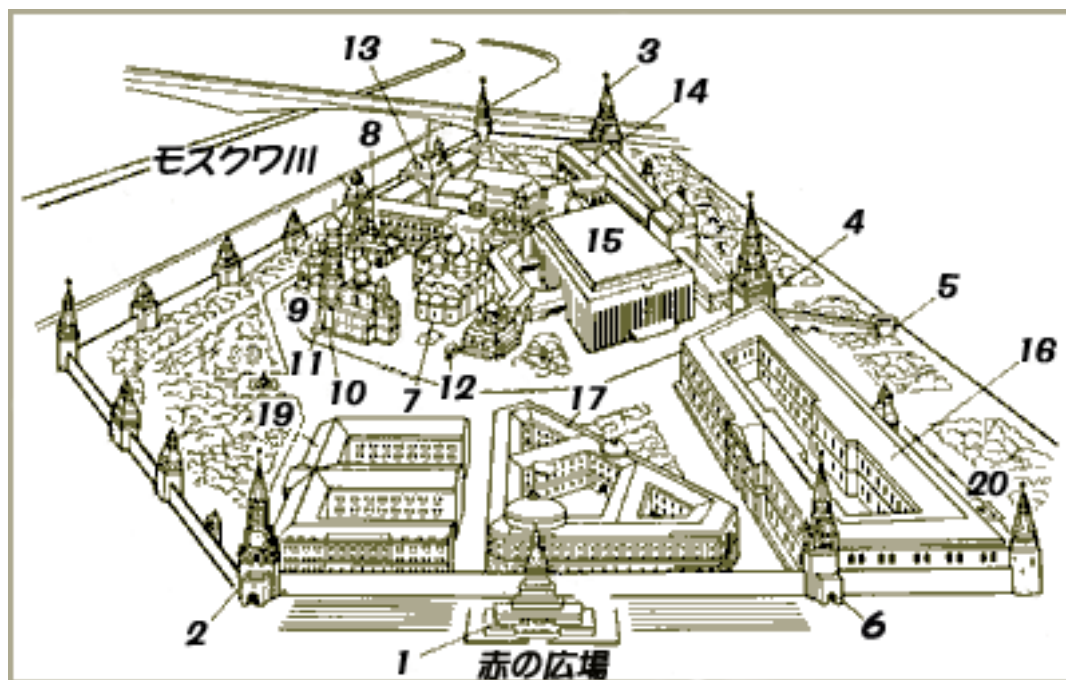
- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| 1 Sokolnicheskaya line (red) | 6 Kaluzhsko-Rizhskaya line (orange) | 10 Lyublinsko-Dmitrovskaya line (lime) |
| 2 Zamoskvoretskaya line (green) | 7 Tagansko-Krasnopresnenskaya line (purple) | 11 Bolshaya Koltsevaya line / Big Ring (teal) |
| 3 Arbatsko-Pokrovskaya line (blue) | 8 Kalininskaya line (yellow) | 11A Kakhovskaya line (teal) |
| 4 Filyovskaya line (azure) | 8A Solntsevskaya line (yellow) | 12 Butovskaya line (blue-gray) |
| 5 Koltsevaya line (brown ring) | 9 Serpukhovsko-Timiryazevskaya line (grey) | 13 Moscow Monorail |
| | | 14 Moscow Central Circle / MCC |
| 15 Kozhukhovskaya line (rosy) | 8 Kalininsko-Solntsevskaya line (yellow) | KOM Line for Kommunka |

Key to symbols



Image originally created and licensed under the Creative Commons Attribution-Share Alike 3.0 Unported by Wikimedian(s).

5 市内観光



赤 の 広 場

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① レーニン廟 | ⑪ 鐘の王様 |
| ② スパスカヤ塔 | ⑫ 大砲の王様 |
| ③ ボロヴィツカヤ塔 | ⑬ 大クレムリン宮殿 |
| ④ トロイツカヤ塔 | ⑭ 武器庫、ダイヤモンド・フォンド |
| ⑤ クタフィヤ塔（観光用入口） | ⑮ 国立クレムリン宮殿 |
| ⑥ ニコルスカヤ塔 | ⑯ 宮殿兵器庫 |
| ⑦ ウスペンスキー寺院 | ⑰ ロシア大統領府（旧内閣館） |
| ⑧ ブラガヴェシチェンスキー寺院 | ⑱ レーニン像 |
| ⑨ アルハンゲリスキー寺院 | ⑳ 無名戦士の墓 |
| ⑩ イワン大帝の鐘楼 | |

※新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、一部の施設では見学の停止、見学時間の変更などを行っている場合や入り口でQRコードの提示を求められる場合がありますのでご注意ください。

赤の広場

モスクワ公国の大公達は、常時クレムリンの内に住み、その周りには市民が住居を構えていました。市民の多くは商業を営み、その中心（キタイ・ゴロド）の露店市場が、「赤の広場」（クラスナヤ・プローシャチ）の前身です。1782年広場の堀立小屋等が取り壊され、「赤の広場」が出現しました。ロシア語でクラスヌィという言葉は、古くは「美しい」という意味で用いられ、「赤の広場」も「美しい広場」という意味であったといわれています。5月1日のメーデー、11月7日の和解と合意の日（旧革命記念日）などには記念行事が行われます。

「赤の広場」はロシアの歴史と密接に結びついています。例えばここにおいて、モスクワに侵入したタタール人やポーランド人を相手に激しい戦いがなされ、また1917年10月革命の時もここで激しい戦いが展開されました（「赤の広場」の横、旧レーニン博物館は反革命派の最後の拠点でした）。広場の片隅には昔、処刑場として使用された小さな円形の台（ロブノエ・メスト）があり、1671年には有名なステンカ・ラージンがここで首を斬られたといわれています。

★赤の広場での見どころ★

・レーニン廟

「赤の広場」の中央正面、クレムリンの壁を背にしてレーニン廟があります。レーニンの亡くなった1924年に建造された時は木造であったのが、1929年ウクライナ産の花崗岩造りのものに建て替えられました。ここにはレーニンの遺体が安置されています。

廟の屋上は、以前赤の広場でパレードが行われていた時に、党、政府の要人が立つバルコニーでした。廟の背後には10月革命でたおれた「赤軍兵士の墓」、スターリン、カリーニン、ジェルジンスキー等の墓があります。1993年10月より、1時間毎のレーニン廟の衛兵の交代は廃止されました。

廟の内部は写真撮影厳禁で、カメラや大きめの荷物は持ち込み不可。

●見学時間：火、水、木、土、日の10～13時。入場無料。

・聖ワシーリー寺院（ボクロフスキー聖堂）

赤の広場の南側に位置するおなじみのネギ坊主。1554～60年、イワン雷帝がカザン汗国併合を記念して建立を命じた、ロシアの教会建築の代表的なものです。イワン雷帝は、できあがった寺院のあまりの美しさに驚き、二度とこのような美しい建築物ができないように、二人の設計者の目をくり抜いてしまった、という逸話があります。形、色の異なる9つのネギ坊主はそれぞれがロシア正教の寺院になっており、現在は博物館として開放されています。外部は、1954～59年に大改修が行われました。

●TEL：8－495－698－3304 入場料：350R（学割100R）

見学時間：10:00～17:00（入場は閉館30分前まで、第一水曜日は休み）

URL：www.saintbasil.ru

・ミーニンとポジャルスキー像

1612年モスクワを占領していたポーランド軍に対し、人民義勇軍を組織し、ポーランド軍を駆逐した2人の英雄の像。除幕は1818年で、モスクワ最初の記念碑であるといわれています。

・ **国立歴史博物館**

赤の広場とマネージナヤ広場を区分する赤レンガ造りの建物で、1883年開館されました。ここには主に、石器時代から革命までのロシアの歴史（革命史を示す特別ホールもある）が紹介されており、膨大な収蔵品があります。

また、隣接する別館（1812年祖国戦争博物館）では、1812年のナポレオンとの戦いを紹介しており、当時の戦利品等が展示されています。

●TEL：8－495－692－6817、8－495－692－4019

入場料：国立歴史博物館－350R（学割100R）、1812年祖国戦争博物館－300R（学割100R）

見学時間：月、水、木、日10:00～18:00（チケット売り場17:00まで）

金・土 11:00～21:00（チケット売り場は20:00まで）

火曜は休み

ウェブサイト：www.shm.ru

・ **「 Gum 」百貨店**

赤の広場を挟んで、レーニン廟の向かい側にあるロシアで一番有名な百貨店です。1890～93年に造られた建物は、内部が吹き抜けの3階建て。食料品店、カフェなどの他、外国の高級ブティックも多く出店しています。

●営業時間：10:00～22:00 無休

TEL：8－495－788－4343

ウェブサイト：www.gum.ru

クレムリン

地図を見ると、クレムリンは文字通りモスクワ市の中心、モスクワ川の岸に沿った高台にあります。

12世紀ユーリー・ドルゴルーキー公がボロヴィツキー丘の上に木の砦を築き、住居としたのがクレムリンの始まりです。タタールの侵入などによってクレムリンの城壁は度々破壊され、15世紀後半、イワン3世の時代に、現在のような煉瓦と塔の城壁に変わりました。18世紀に首都が今のサンクトペテルブルクに移されてからも、クレムリンは様々な儀式の場として重要性は変わらず、革命後、1918年からはソ連の政治の中枢として、ソ連邦崩壊後も引き続きロシアの政治の中枢として機能しています。

以前は、クレムリンの中に一般人が立ち入ることは禁止されていましたが、1954年1月1日以後、一部を除いて内部へ立ち入ることが許されました。クレムリン内には以下のような有名な建築があります。

● 見学時間：09:30～18:00（チケット売り場09:00～17:00まで）／木曜日休み

TEL：8－495－695－4146

入場料：500R（武器庫及びダイヤモンド庫は別料金）

武器庫入場料：700R（武器庫の入場は10:00、12:00、14:30、16:30）

ダイヤモンド庫入場料：500R（10:00～13:00、14:00～17:20）

ウェブサイト：www.kreml.ru

・クレムリンの城壁と望楼

クレムリンの城壁には20の塔があります。これらの内最も重要な塔はスパスカヤ塔で、高さは74メートルあり、塔上にはピョートル大帝がオランダから輸入した時計がついています。文字盤の直径は6.12メートル、長針の長さは3.28メートル、短針の長さ2.97メートル、時計の自重は25トンあります。

1935年、革命18周年にスパスカヤ塔上のロシア皇帝の紋章「双頭の鷲」が取り去られ、代わりにルビーの赤い星が取り付けられました。この時、同種の赤い星が、ニコルスカヤ塔、トロイツカヤ塔、ポロヴィツカヤ塔等にも取り付けられました。

一番高いトロイツカヤ塔の高さは80メートルにものぼります。

・ウスペンスキー寺院（聖母昇天寺院）

1475～79年にロシア人の職人がイタリアの建築家フィオラヴァンテ指導の下に建てたもので、高さは38メートルです。ここがロシア帝国の宗教儀式的場所となり、皇帝の戴冠式、モスクワ総主教の葬儀、外国使臣の謁見に使用されました。院内にはロシアの木造彫刻の最高傑作といわれているイワン雷帝の玉座（1551年作）があります。

・ブラガヴェシチェンスキー寺院（聖母受胎告知寺院）

1484～89年にモスクワとプスコフの職人達によって建てられたもので、高さは20.3メートルあります。クレムリンの火災で損害を受け、1564年イワン雷帝によって大改修されました。アーチ型の回廊が多く、フレスコ画、イコン（聖像画）が有名で、アンドレイ・ルブリョフ、フェオファン・グレク等の作品を見ることができます。

・アルハンゲリスキー寺院（大天使寺院）

ミラノの建築家ノーヴィの設計により1505～08年に建立されたもので、高さは34メートルあります。ここはピョートル大帝までのモスクワ王侯の墓所となっており、全部で48もの棺がところ狭しと並べられています。有名なものでは、イワン雷帝とその息子イワンの棺があります。また寺院内には、イワン・カリタ公、イワン3世（イワン大帝）、イワン雷帝、フョードル・イヴァーノヴィチ、アレクセイ・ミハイロヴィチの各皇帝の肖像壁画があります。

・イワン大帝の鐘楼

1505～08年に建立されました。これは教会と鐘楼を兼ねたもので、同時にモスクワ市の見張り台、信号塔として使用されました。今の形に完成されたのは1600年です。22の大鐘、約30の小鐘があり、楼全体の高さは80メートル、地中の土台は36メートルあります。

・鐘の皇帝

イワン大帝の鐘楼の前にあるこの大きな鐘は、1733～35年にロシアの名匠イワン・マトーリンとミハイル・マトーリンが造ったもので、重さ197トン、直径6.6メートル、高さ5.87メートル、厚さが60センチもあります。完成した当時、つり下げるため木の柵で囲んだ窪地に置かれていましたが、1737年のモスクワ大火で焼け、その直後、急に冷却したために鐘の一部（11トンもある）が壊れて落ちてしまいました。

- ・ **大砲の皇帝**

鐘の皇帝とともに、当時の鑄造技術を示すもので、重さ38トン、長さ5メートル、口径89センチで、1586年アンドレイ・チョホフによって造られました。王家の愛玩具であり、実際に使用されたことは一度もありません。

- ・ **国立クレムリン宮殿**

1961年に建築家ポソーヒンの指導の下に建てられた、大理石とアルミニウムで造られた近代的な建物です。6,000人収容でき、ソ連時代は共産党大会、労働大会、国際会議に使われていました。現在は各種コンサート、バレエ、オペラや、大規模な会議に使われています。

- ・ **武器庫、ダイヤモンド庫**

16世紀に鎧や兵器を製作・保管する倉庫として建てられた武器庫は、18世紀初めにピョートル1世の勅命によって博物館となりました。

現在ここには、ロシア史上珍しい古代の武器、戦利品、各国からの贈り物、皇帝使用の馬車・衣服等目を奪うような豪華な陳列品が並んでいます。ピョートル大帝がいかに大男であったかを示す衣服、長靴なども見物です。

見落としてはならないのは、同じ建物にあるダイヤモンド庫です。革命50周年を記念して1967年にオープンしたもので、エカテリーナ2世の戴冠式に使われた398カラットの王冠のダイヤモンドをはじめ、ため息をつくような宝石類が収められています。

- ・ **大クレムリン宮殿**

歴代皇帝の住居であったところで、クレムリン宮殿が焼失した後、同じ場所に1838～49年に、チチャゴフ、ゲラシモフ、バカレフ、リヒテル、トンなどのロシア人建築家が共同して建築したものです。19世紀の家具、シャンデリア、絨毯、絵画などの傑作がふんだんに取り入れられた豪華な宮殿です。現在は、外国政府要人との会見等の政府の公式行事に用いられているため、一般には公開されていません。

クレムリン周辺

- ・ **無名戦士の墓**

クレムリンの北側に沿って広がるアレクサンドロフスキー公園の、赤の広場沿いに位置する第二次世界大戦の戦没者碑。茶色の花崗岩の中心部には、永遠に消えることのない火が灯されており、毎日多くの市民が訪れています。休日ともなれば、結婚式を挙げたばかりのカップルが花を捧げにやって来ます。レーニン廟で廃止された衛兵の交代儀式も現在はここで見るができます。

※地下鉄アホートヌィ・リャト(Охотный ряд)駅下車

- ・ **国立ロシア図書館(旧名レーニン図書館)**

モスクワの国立図書館はロシア最大、また世界でも指折りの規模を誇っています。

19世紀に建てられた旧館はバジェーノフの設計で、世界的にも有名な建築です。書架の長さ

は全体で300キロメートルもあり、ロシアで発行される印刷物は全てこの図書館に集められます。

入館するためには、パスポートを持参の上、窓口で登録して入館証を入手する必要があります。

※地下鉄ビブリオテカ・イメニ・レーニナ (Библиотека им.Ленина) 駅下車

●Tel: 8-499-557-0470、住所: Ul. Vozdvizhenka 3/5 (Ул. Воздвиженка 3/5, под. 2)

開館時間: 月～金09:00～20:00

ウェブサイト: www.rsl.ru

・ **ボリショイ劇場**

1776年に創立されたボリショイ劇場は、数々のオペラ、バレエの名作を生み出しました。外観もさることながら、劇場内部も金色、赤色で美しい装飾がなされています。シーズンは9月から始まり、夏期は休館。2003年に、隣接して新館がオープンしました。

2011年10月、本館の改装修理が終了し、オープンしました。

※地下鉄テアトラリーナヤ (Театральная) 駅下車

●Tel: 8-495-455-5555、住所: Teatral'naya ploschad' 1 (Театральная пл.1)

券売所営業時間: 新館11:00～20:00 (14:00～15:00昼休み)

本館11:00～20:00 (16:00～18:00休憩)

ウェブサイト: www.bolshoi.ru

・ **連邦保安庁 (旧KGB)**

ソ連時代のKGB (国家保安委員会) 本部。現在は連邦保安庁が旧KGB本部の建物に入っています。8階建ての巨大な建物の前にはKGBの創設者ジェルジンスキーの像がありましたが、1991年8月のクーデター未遂事件の直後に、市民によって取り壊されました。現在、その像は、ゴーリキー公園の向かいにある中央芸術家会館 (ЦДХ) 展示会場の脇のMUZEON (芸術公園) に立てられています。

※連邦保安庁・・・地下鉄ルビャンカ (Лубянка) 駅下車、ルビャンカ広場。

※ゴーリキー公園、ЦДХ・・・地下鉄パールク・クリトゥーリ (Парк культуры) 駅、

またはオクチャーブリスカヤ (Октябрьская) 駅下車

● (公園) Tel: 8-495-953-5885、住所: Krimsky val 9 (ул.Крымский вал 9)

営業時間: 平日12:00～22:00、休日11:00～23:00

● (ЦДХ) Tel: 8-499-238-9634、

住所: Krimsky val 10 (ул.Крымский вал 10)

ウェブサイト: www.cha.ru

トヴェルスカヤ通り (旧ゴーリキー通り)

モスクワの目抜き通り。モスクワ-サンクトペテルブルクの2都市間を結ぶ重要な道の始点でもあります。

クレムリンを背に、なだらかなこの通りを上って行くと、左手のナショナル・ホテル、モス

クワ市中央郵便局をはじめ、数多くのカフェ、商店、美容院等が並んでいます。さらに先を行くと、左手に18世紀の白い列柱のある赤い建物が見えます。これはモスクワ市庁舎です。チャイコフスキーのオペラ「スペードの女王」のモデル、ゴリツィナ公爵夫人の実家で、革命まで歴代の総督官邸でした。正面の広場にはモスクワの創設者ユーリー・ドルゴルーキー公の騎馬像があります。

さらに北へ行くと、プーシキン広場に出ます。右手には詩人のプーシキンの像、左手にはロシアで最初のマクドナルドが大店舗を構えています。

次に見えるのが、マヤコフスキー広場。ここにはチャイコフスキー・コンサートホールがあります。1、500人収容のホールでは、連日様々なオーケストラのコンサートが行われています。

※地下鉄トヴェルスカヤ(Тверская)駅、マヤコフスカヤ(Маяковская)駅下車

新アルバート (旧名カリーニン大通り) ／ 旧アルバート

・ 新アルバート通り

高層ビルの建ち並ぶ商業センター。国立図書館から西へモスクワ川まで延びています。通りの右手にはロシアで最大級の本屋「ドム・クニーギ(本の家)」、ウズベク料理レストラン等が、通りの左手には、新アルバート食料品店、ショッピングセンター等が並び昼夜を問わず多くの人が集まっています。

※地下鉄アルバーツカヤ(Арбатская)駅、スモレンスカヤ(Смоленская)駅

新アルバート通りとモスクワ川の交差する場所に、ホワイトハウスがそびえ建っています。1991年8月のクーデター未遂事件の際に、エリツィン派の拠点となり、民衆は迫りくる戦車に対してバリケードを築きました。その後、ロシア最高会議として使われていましたが、議会側と大統領側が対立を強め、1993年9月、ハズブラトフ最高会議議長、ルツコイ副大統領率いる反大統領派が立て籠もり、1993年10月3日、4日には、政府軍との間に流血事件が起こり、多数の死傷者を出しました。

川を挟んで向かいに見えるスターリン建築は、1957年開業、30階建て、高さ172メートルのウクライナホテルです(なお、2010年4月末の改装・オープン後に「ラディソン・ロイヤル」と改称されました)。

※地下鉄スモレンスカヤ(Смоленская)駅、キエフスカヤ(Киевская)駅下車

・ 旧アルバート通り

18世紀には貴族の屋敷町だった旧アルバート通りは、現在ではモスクワの若者が集まる歩行者天国。小さな通りですが、レストランや土産売り・アンティーク店が並び、音楽・ダンスのパフォーマンス、似顔絵を描く画家、ぬいぐるみを着て通行人を誘う写真屋など、外国人観光客にも人気がある、活気に満ちた通りです。

※地下鉄アルバーツカヤ(Арбатская)駅、スモレンスカヤ(Смоленская)駅

モスクワの新名所

・戦勝記念公園

市の中心からラディソンホテル（旧ウクライナホテル）のあるクツォフ通りを通して凱旋門を抜けたところから左手に壮大な公園が見えてきます。モスクワの西に位置するパクロンナヤ丘（礼拝の丘）に同公園はあります。ナポレオン軍との1812年のボロディノの戦いの後、この丘の近くでクツォフ将軍によって有名な会議が開かれ、また、大祖国戦争（1941－45）の時には、赤軍と国民軍がこの丘を通して西へ向かいました。1961年にこの丘に戦勝記念公園が造られ、1985年には大祖国戦争博物館と大祖国戦争の戦没者の慰霊のためのロシア正教会、そして、142メートルもの高さの銃剣の形をした記念碑の建設が始まりましたが、建設には長い年数を要し、1995年5月の対独戦勝50周年記念の日によろしく、公園をはじめ博物館等のコンプレックスが一般公開され、今日では、休日には多くのロシア人が家族や恋人とともに公園で憩う、モスクワの新名所の一つとなっています。戦争博物館には大祖国戦争時の数々の激戦場面を再現したパノラマ、フィルムや、戦争時に軍人が使用した銃器、軍服等が陳列されています。また、博物館の前にそびえ立つ記念碑には、大祖国戦争で英雄的な闘いを行った英雄都市の名が刻まれ、ソビエトの兵士達の困難な戦いと勝利を不滅のものにしています。また、公園の裏手には、第二次大戦時にソ連軍が使用した戦車や戦闘機が陳列されています。

※地下鉄パルク・パベディ（Парк победы）駅下車

●Tel: 8－4 9 9－4 4 9－8 1 7 9 / 8 1 8 1

住所: Ploshad' pobedi 3（Площадь победы 3）

大祖国戦争中央博物館（Центральный музей Великой Отечественной Войны）

見学時間：10:00～20:00（入場は18:00まで。月曜、最終木曜休館。）

入場料：一般250R、学生200R

写真撮影：100R（外国人は120R）

ウェブサイト：www.poklonnayagora.ru

・マネージ広場と地下ショッピングセンター

赤の広場の入り口に広がる大きな広場で、ここから歴史博物館や無名戦士の墓、メトロポールホテルなどに行くこともできます。この広場ではソ連の崩壊から新生ロシアへの移行期に、数多くのデモや集会が行われていましたが、1995年には戦勝50周年を記念して赤の広場の入り口付近に大祖国戦争時のジュコフ元帥の騎馬像が建立され、また、1997年のモスクワ市制850周年に向け、同広場の地下に大地下街の建設が始められ、1998年に入って完成しました。広場の上や周辺に多くの噴水やロシアの民族をモチーフにした彫刻がならび、また地下3階建のモスクワ最大規模のショッピング街では、多くの買い物客や見物客で賑わっています。

※地下鉄アホートヌィ・リャト（Охотный ряд）駅下車

●Tel: 8－4 9 5－7 3 7－8 4 4 9、住所: Manezhnaya ploshad' 1（Манежная площадь 1）

地下街営業時間：10:00～23:00

・救世主キリスト教会

この教会は、帝政ロシア時代から革命後の一時期まで現在と同じ場所にあったものを復元し

たものです。スターリン体制下の厳しい弾圧により1932年に教会は取り壊され、ソビエト宮殿の建設予定地となりましたが、地盤の弱さが原因で、宮殿は建設されませんでした。その後、宮殿予定跡地には、1960年にモスクワ水泳場（屋外温水プール）が造られ、市民の遊戯療養の場所とされていました。しかし、2001年、キリスト救世主教会は、ルシュコフ・モスクワ市長（当時）のイニシアチブにより、昔の設計図を元に再建されました。教会は上階と下階の2つの部分からなり、礼拝は、毎週土、日曜日及び教会に関わる祭日に行われています。また、教会入り口付近にある本屋、イコンの売店、及び教会付属の博物館は通常開館しています（10:00～18:00、なお毎月の最終月曜は休館）。入場無料。

※地下鉄クロボトキンスカヤ（Кропоткинская）駅下車

●Tel: 8-495-637-1276、住所: ul. Volkhonka 15-17 (ул. Волхонка 15-17)

開館時間

- ・救世主キリスト教会：10:00～17:00（月曜13:00から）
- ・プレオブラジェンスキー教会：08:00～19:30くらいまで

ウェブサイト：www.xxc.ru

美術館

・トレチャコフ美術館

帝政ロシア及びソ連時代の絵画の所蔵数では、国内最大のギャラリーです。1892年トレチャコフ兄弟が、自分達のコレクションとその陳列用建物をモスクワ市に寄贈したのが始まりです。現在では所蔵7万点を数え、集められているものは主として11世紀以後のロシアの絵画で、1927年には現代ソヴィエト部門も新設されました。19世紀「移動派」の代表画家クラムスコイ『広野のキリスト』、ペローフ『ドフトエフスキーの肖像』、歴史画の巨匠スリコフ『公爵モロゾフ』、民衆画の傑作レーピン『クルースク県の十字架行進』『イワン雷帝とその息子イワン』、「芸術の世界」代表画家ヴルーベリ『鎮座せるデーモン』『転落せるデーモン』、また、ロシア・アヴァンギャルド代表画家マレーヴィッチの作品、発表当時現代のイコンと名付けられた『黒い方形』等の作品があります。

また、ゴーリキー公園正面入口の向かい側にトレチャコフ新館ができました。こちらでは、ロシア革命前後のロシア・アバンギャルドの素晴らしい常設展があります。

～トレチャコフ美術館～

※地下鉄トレチャコフスカヤ（Третьяковская）駅下車

●Tel: 8-495-951-1362、8-499-238-1378

住所: Lavrushinskii per. 10 (Лаврушинский пер.10)

見学時間: 火・水・日10:00～18:00、木・金・土10:00～21:00／月曜日休み

入場料: 400R

ウェブサイト: www.tretyakovgallery.ru

～トレチャコフ美術館（新館）～

※地下鉄パルク・クリトウーリ（Парк культуры）駅下車

●Tel: 8-495-238-1378、住所: Ul. Krymskiy Val 10 (ул. Крымский вал 10)

見学時間: 火・木・日10:00～18:00、木・金・土10:00～21:00／月曜日休み

入場料：外国人450R、ロシア人・・大人350R、学生150R

ウェブサイト：www.tretyakovgallery.ru

・ **プーシキン美術館**

1912年、モスクワ大学のツヴェターエフ教授のイニシアチブにより、西洋美術品のコレクションの少ないモスクワ市民啓蒙のために開かれた美術館で、その目的からして多くのレプリカを含んでいました。しかし、革命後、個人のコレクションが大量に入り、現在ではレンブラント、マネ、モネ、ルノアール、ゴッホ、ゴーギャン、マチス、ピカソ等西欧の有名画家の優れた作品を含め2万点以上を所蔵しています。ミロのヴィーナス、ダビデ、モーゼ等の彫刻作品は、いうまでもなく上記の目的のために置かれたコピーであって、本物ではありません。エジプト・メソポタミアの発掘品、ビザンチンのイコンも並んでいます。また、フランス印象派以降の作品が特に充実しており、これら作品を展示するため、2006年8月に19・20世紀欧米諸国美術ギャラリーとして本館の隣に別館がオープンしました。

また、定期的に多彩な展覧会も催されていますので、こちらも見逃せません。

※地下鉄クロポトキンスカヤ(Кропоткинская)駅下車

●Tel: 8-495-609-9520、8-495-697-9578

住所：Ul.Volkhonka12(ул.Волхонка12) (本館)

Ul.Volkhonka14(ул.Волхонка14) (別館)

見学時間：11:00～20:00 (入場は19:00まで)

木曜及び金曜は11:00～21:00 (入場は20:00まで)

月曜休み

入場料：本館300R (金曜日17時以降は500R)

別館300R (金曜日17時以降は400R)

本館・別館共通券550R (金曜日は750R)

写真撮影：一部可

ウェブサイト：www.arts-museum.ru

ロシア文学博物館

・ **プーシキン博物館**

内部には19世紀の様子が再現され、偉大な詩人プーシキンの存命中に出版された作品約5万点、プーシキン自身の身の回り品や手書きの原稿も保管されています。

●Tel: 8-495-637-5674

住所：Ul. Prechistenka12/2(ул.пречистенка12/2)

見学時間：木以外11:00～19:00時 (入場17:30まで)

木13:00～21:00 (入場20:30まで)

月・最終金曜日休み

入場料：200R

ウェブサイト：pushkinmuseum.ru

・ **チャーホフの家博物館** ※2018年11月より改修工事中 (終了未定)

1886年からサハリンへ出発する1890年まで、チャーホフが若き時期を過ごした家。書斎と寝室は生前のままで保管されています。

●Tel: 8-495-691-6154 / 3837

住所: Ul. Sadovaya kudrinskaya6 (ул.садовая кудринская6)

見学時間: 火・水・土・日11:00~18:00時 / 木・金14:00~20:00、月曜日休み

入場料: 250R

・ **トルストイの家博物館**

1882年から1901年の間にトルストイが住んでいました。ここで彼は「クロイツェルソナタ」「復活」などの名作を書き上げました。

●Tel: 8-499-246-9444、住所: Ul. l'va tolstova21 (ул.льва толстого21)

見学時間: 火・木12:00~20:00 / 水・金・土・日10:00~18:00 (いずれも閉館30分前で入場終了)、月曜日及び毎月最終金曜日休み

入場料: 200R

・ **ゴーリキーの家博物館**

ゴーリキーがその晩年を過ごした家。

●Tel: 8-495-690-5130、住所: Ul. M. Nikitsukaya6/2 (ул.м.никитская6/2)

見学時間: 水~日11:00~17:30、月・火曜及び毎月の最終木曜日休み

入場無料

・ **レールモントフの家博物館**

モスクワ大学時代、詩人が住んだ家。内部は当時のままに復元されています。

●Tel: 8-495-691-1860、住所: Ul. M. Molchanovka2 (ул.м.молчановкв2)

見学時間:

火・金・土・日11:00~18:00、水・木14:00~20:00、月曜日休み

入場料: 50R

雀が丘（旧名レーニン丘）とその周辺

雀が丘はモスクワ市民の散策場として古くから愛されています。展望台からは市内がよく見渡せ、遠くにクレムリン、ウクライナ（ラディソン）ホテル、右手にゴーリキー公園、左手にノヴォデヴィチ修道院などが一望できます。土・日曜日になると展望台は新婚カップルで大賑わいです。展望台の左側には小さなロシア正教会が建っており、現在も礼拝が行われています。右側にはスキージャンプ練習台があります。

★ 雀が丘周辺の見どころ★

・ **ノヴォデヴィチ修道院**

モスクワ川沿いに建つこの尼僧院はロシア史上、またロシア建築から見て非常に興味深いものです。1524年ワシーリー3世時代に、この尼僧院はモスクワの郊外城塞として造られました。

た。かつてここには、イリーナ・ゴドゥノヴァ（フョードル・イヴァーノヴィチ皇帝の妃）やボリス・ゴドゥノフが住んでいました。中でも有名なのは、ソフィア皇女（ピョートル大帝の姉）で、彼女は1689年以降ここに幽閉されました。その後、1698年彼女を支持して反乱した近衛兵300名が、彼女の窓の下で絞首刑に処されました。17世紀末、この尼僧院は36村の土地を領有していたといわれています。尼僧院の敷地は約5ヘクタール、城壁の長さは約900メートル（城壁と見張り塔はボリス・ゴドゥノフ帝時代の作といわれています）あり、尼僧院の多くの建物は17世紀のものです。また、ナポレオンがモスクワに攻めて来た時、ここで激烈な攻防戦が繰り広げられました。

現在修道院内の大部分の建物は一般に解放されています。最も有名な建物は、1525年に建立されたスモレンスキー寺院で、内部には1683～85年の多数のイコン、また16～19世紀の教会用品、敷物等が多数保存されています。

●Tel: 8-499-246-8526

住所: Novodevichii proezd. D1 (новодевичий проезд. д1)

見学時間: 10:00～17:30（入場は16:45まで）、火曜日、毎月第1月曜日休み

入場料: 150R

ウェブサイト: www.novodev.msk.ru

ノヴォデヴィチ修道院のもう一つの見どころは墓地です。尼僧院の付属墓地には、作家のゴーゴリ、チェーホフ、詩人のマヤコフスキー、画家のレヴィタン、演劇人のスタニスラフスキー、作曲家のショスタコーヴィッチ、プロコフィエフ、歌手のシャリアピン、チェリストで指揮者のロストロポーヴィッチ、バレリーナのウラノワ、サーカス芸人のニクーリン、また、フルシチョフ元首相、ゴルバチョフ元ソ連大統領のライサ夫人、エリツィン元ロシア初代大統領等、数多くの有名人の墓があります。

●Tel: 8-499-246-6614

見学時間: 09:00～17:00

・モスクワ大学（新館）

正式名称をロマノーフ名称モスクワ国立大学といいます。1775年ロシアの学者ロマノーフがモスクワ高等学校を創立しましたが、それがモスクワ大学の前身です。大部分の学部はここ雀が丘に建つ新館内にあります。この新館は1949～53年に建設され、中心の建物は32階建てで、塔の先端までの高さが380メートル、正面の長さ450メートルで、7つあるスターリン建築の中では最大です。17階建ての左右のウイング部分は学生寮になっており、ロシアからはもちろんのこと世界各国からの学生が勉学に励んでいます。

新館へは通行許可証を持った車のみ乗り付け可能。

平和大通り周辺

・オスタンキノ宮殿

富裕な貴族であったシェレメーチェフ家の宮殿で、18世紀の代表的なロシア建築です。シェレメーチェフ伯爵は富裕であっただけではなく、農奴をして名高い劇団をつくらせたこと、また農奴の娘を妻に娶ったことで有名です。

オスタンキノの家は一見図書館風に見え、さして大きいとは思いませんが、中に入ると意外と大きいものです。この家の中に、領地内の農奴を役者、楽士として演じさせた客用の劇場があり、そこには、当初使用された楽器、擬音器等興味深いものが展示されています。劇場の外には2つの大きな画廊があります。また、建物の西側には17世紀の教会、南側には大きな池があります。北側は公園になっています。

この建物は農奴の力を最大限に利用した、贅をこらしたものです。殊に中央ホールの床板は素晴らしいものであり、客間の飾り絨毯はフランス風です。

※2013年から修復工事を行っており、工事終了時期は未定です。

●ウェブサイト：www.ostankino-museum.ru

・オスタンキノ・テレビ塔

1967年完成した、高さ537メートルを誇る大タワーです。地上337メートルの所に展望台とレストランがあります。東京タワーの高さが333メートル、その展望台は地上150メートルの所にあることを考えれば、如何に見晴らしが良いか想像がつくことでしょう（曇っている時はその限りにあらず）。

また、このテレビ塔の脇にはテレビ局があります。1993年10月の流血事件の際、反大統領派により襲撃を受け、犠牲者を出した所でもあります。

●住所：Ul. Akademika Korolyova 15/2、ent. 2（ул.Академика Королева д. 15/2、под.2）

10名以上見学の際には予め申し込みが必要です。

見学時間：10:00～21:00

見学申込受付Tel：8－495－926－6111（10:00～20:00）

入場料：成人1000R、18歳未満500R

ウェブサイト：www.tvtower.ru

モスクワ郊外

・セルギーエフ・パサード（旧名ザゴールスク）

モスクワの北方70キロメートルのセルギーエフ・パサードに、トロイツェ・セルギーエフ大修道院があります。この修道院は、1920年に博物館となりましたが、修道院活動はいまだに続けられています。1422年に建てられたトロイツキー（三位一体）寺院、イワン雷帝の勅命により1559～85年に建てられたウスペンスキー（聖母昇天）寺院、トラペズナヤ教会、その他神学校、病院等があり、14～18世紀のロシア文化の最大の遺産ともいわれています。

セルギーエフ・パサード付近では、14世紀以降しばしば戦闘が行われました。17世紀初頭には、この大修道院の周りには厚い壁が造られ、そこには最新の大砲その他の銃火器が置かれました。1612年8月には、モスクワ解放のために進軍してきたミーニンとポジャルスキーの軍がここに到着しました。1682年、有名な近衛兵叛乱が起きた時、若いピョートル大帝は母と共にここに隠れました。

なお、ここにはボリス・ゴドゥノフ帝の墓もあります。

●Tel：8－496－540－5334

見学時間：10:00～18:00／無休

入場料：無料

ウェブサイト：www.stsl.ru

※注意：一般的に活動している教会に入る時は、男性は帽子をとり女性は布などで髪を隠すのが礼儀です。

・クスコヴォ

モスクワの南東、大環状道路の付近に、帝政ロシア時代の貴族シェレメーチェフ伯爵家の持ち家の一つであったクスコヴォに広大な邸宅があります。1769～75年に建てられた建物の内部は、当時の豪華な生活ぶりがしのばれ、特に所蔵の陶磁器のコレクションは見事です。

●Tel: 8-495-370-0160、8-495-375-3131

住所: Ul. Yunosti, D2 (ул. Юности, д2)

見学時間：10:00～18:00（入場は17:00まで）、月・火曜、毎月最終水曜日休み

入場料：100～250R（見学する場所により異なる）

・銀の森

モスクワ市郊外、モスクワ川のほとりにあるこの別荘地は、夏は甲羅干しによい場所として、秋は紅葉が美しい場所として有名です。

・ヤースナヤ・パリャーナ

1828年8月28日、世界的な文豪トルストイは、モスクワを200キロメートルほど離れたヤースナヤ・パリャーナで生まれました。対ナポレオン戦争に従軍したトルストイの父、ニコライ・イリイチ・トルストイ伯爵は、1882年裕福なマリア・ニコラーエヴナ・ヴォルコンスカヤ公爵令嬢と結婚し、それによってヤースナヤ・パリャーナの領地がトルストイ家に属することになりました。その領地は、非常に美しい自然に囲まれていました。トルストイは1841年にカザンに移り、3年後カザンの大学に入りました。しかし、1847年大学2年生の頃、トルストイは自分の領地として与えられたヤースナヤ・パリャーナに戻ってきました。この土地は、トルストイの文学生活と切っても切れないもので、それ以後永い一生の間、トルストイは殆どヤースナヤ・パリャーナで暮らしました。現在ヤースナヤ・パリャーナは博物館となっています。貴族らしい大きな居間と家族の肖像画がある食堂、簡素で小さなベッドがある寝室、文学の労働者として仕事をした図書館や書斎がそのまま見られます。

ここにはトルストイの墓もあります。ここを見学するには往復で丸1日が必要です。

●Tel: 8-487-51-76-125

見学時間：園内博物館 09:00～20:00、月、及び毎月の最終火休み

（なお、4月1日～11月1日まで博物館は見学グループによる入館のみに限定される可能性があります。）

入場料：園内散策／20R、博物館を含むコース見学（露語）／150R

外国語による博物館を含むグループ見学／150R×人数+1、200R

ウェブサイト：www.ypmuseum.ru

・クリン

モスクワ・サンクトペテルブルク間の鉄道路線脇にあるクリンの町には、世界的な音楽の巨匠チャイコフスキーが最後の2ヶ年を送った木造の家があります。身寄りの死その他で精神的な痛手を受けていたチャイコフスキーは、モスクワ郊外の静かなこの町、特に我が家をこよなく愛していたようで、「私は個人的にいて、自分のとても大きな部屋に全く満足しています。」と書いています。チャイコフスキーはここで「くるみ割り人形」、第3ピアノコンチェルト、第6交響（悲愴）、20曲以上のピアノ小曲を作曲しました。1893年10月7日死の直前に、チャイコフスキーはクリンを去りペテルブルクに移りましたが、1894年彼の死後1年もたたぬうちに、クリンの家は博物館に指定され今日に至っています。クリンはモスクワより80キロメートルほど離れているので、見学には約半日かかります。

モスクワの博物館・美術館等の開館時間表

※シーズンによって変更される可能性あり。

名称	閉館日	開館時間	場所・電話
レーニン廟	月・金	10:00～13:00	赤の広場、(495) 623-5527
クレムリン武器庫	木	10:00～17:00 入場は10:00、12:00、14:30、 16:30の4回	クレムリン内 (495) 697-0349
プーシキン美術館 本館&別館	月	火水土日11:00～20:00 (入場19:00迄) 木金11:00～21:00 (入場20:00迄)	ヴォルホンカ通り12&14 (495) 697-9578
トレチャコフ美術館 (旧)	月	火水日10:00～18:00 木土金10:00～21:00	ラヴルシェンスキー小路10 (495) 951-1362
トレチャコフ美術館 (新)	月	火水日10:00～18:00 木土金10:00～21:00	クリムスキー・パール10 (495) 238-1378、951-1362
国立歴史博物館	火 第1月曜	金・土10:00～21:00 月水木日10:00～18:00	赤の広場 (495) 692-6817/4019
現代史博物館 (旧革命博物館)	月	火水金土日11:00～19:00 水 12:00～21:00 (入場は閉館1時間前迄)	トヴェルスカヤ通り21 (495) 699-5458/6724
東方民族美術館	月	火水土日 11:00～20:00 水・木 12:00～21:00 (入場は閉館30分前迄)	ニキーチンスキー並木道12a 691-0212/8219
陸軍博物館	月・火	10:00～17:00 (入場16:30迄)	ソヴェツコイ・アルミー2 681-6303/1880
文学博物館	月	火木土日11:00～18:00 水木 11:00～21:00	トルブニコフスキー通り17/1 (495) 621-3857、625-1226
バフルーシン 演劇博物館	月	11:00～20:00	バフルーシン通り31/12 (495) 953-4470
グリーンカ 中央音楽博物館	月	火水土日11:00～19:00 木金 12:00～21:00 (入場10:30～18:30迄)	ファデーエフ通り4 (495) 605-6515
トルストイの家 博物館	月 最終金曜	水金10:00～18:00 土日10:00～18:00 火木12:00～20:00	(入場は全 ての日30 分前迄) レフ・トルストイ通り21 (499) 246-9444
チャーホフの家 博物館	月	火水土日11:00～18:00 木金14:00～20:00	サドヴァヤ・クリンスカヤ6 (495) 691-6154/3837
ゴーリキー博物館	土、日	11:00-16:30	ボヴァルスカヤ通り25A (495) 690-5030

ゴーリキーの家 博物館	月・火 最終木曜	11:00-17:30	マラーヤ・ニキツカ通り 6/2 (495) 690-0535
ドストエフスキー の家博物館	月	火金土日 11:00～18:00 水木 11:00～21:00 (入場閉館30分前迄)	ドストエフスキー通り 2 (495) 681-1085
名称	閉館日	開館時間	場所・電話
ノヴォデヴィチ 修道院	火 第一月曜	09:00-17:00	ノヴォデヴィチ広場 (499) 246-8526 / (495) -245-3168
ダニーロフ修道院	無休	10:00～16:00(ツアー、要予約) 06:00～20:00(修道院)	ダニーロフ・ヴァル通り 22 (495) 958-0502(ツアー) (495) 958-1107(修道院)
クスコヴォ	月・火 最終水曜	10:00～18:00 (入場は17:00迄)	ユーノスチ通り 2 (495) 375-3131
コローメンスコエ	月	10:00～18:00(展示場)	アンドロポヴァ通り 39 (499) 782-8917/8921

※季節によって営業時間が変更となる場合がございますので、事前に確認されることを推奨します。

6 劇場

ロシアの演劇は極めて水準が高く、また、日本と違って毎日プログラムが替わりますので、チャンスさえあれば名作を相当数楽しむことができます。ホテル等各所に劇場案内がありますので、上演される出し物を調べ、切符を購入します。劇場といいますとポリショイ劇場が最も有名ですが、演目により切符入手が困難なこともあります。主な劇場を下記にあげましたが、モスクワにはこの他にも多くの劇場がありますので、幾つか当たってみられることをお勧めします。

(1) オペラ・バレエ関係

●ポリショイ劇場

創立1776年、現在の建物（本館）は1856年完成、2011年10月に改装工事が完成。座席数2、000。また、新館が2003年オープンした（座席数約1、000）。

9月～6月のシーズン中はほぼ毎日バレエかオペラを上演。

●国立クレムリン宮殿（旧クレムリン大会宮殿）

1961年の第22回ソ連共産党大会記念の建物で、各種コンサート、バレエ、オペラ等を上演。

●スタニスラフスキー・ダンチェンコ記念音楽劇場

日本では「ダンチェンコ劇場」として知られており、オペラ、バレエを上演。

2003年の火事の後、2006年に改装を終了。

●オペレッタ劇場

ロシアで最初のオペレッタ劇場。

（２）演劇関係

●モスクワ芸術座（MXAT）

1898年スタニスラフスキーとネミロヴィチ・ダンチェンコの手で創立されリアリズム演劇を確立。1973年に建ったモダンな新館（ゴーリキー名称）と、古い劇場（チェーホフ名称）とがあり、チェーホフ、ゴーリキーの作品、西欧翻訳物の上演で有名。

●マールィ劇場

1824年創立。トルストイ、オストロフスキー、ゴーゴリの作品等が有名。

●ヴァフタングフ劇場

叙情的演出で好評。

●モスクワ諷刺劇場

諷刺劇、喜劇。

●人形劇場

子供のための人形劇もあるが、夜の公演は大部分大人のためのもの。

（３）音楽関係

●モスクワ音楽院大ホール（コンセルバトリー）

モスクワで最も権威のある音楽ホールで、クラシック音楽のコンサート、リサイタルが開かれる。

●チャイコフスキー・コンサートホール

クラシック音楽の他、比較的新しい形の音楽も演奏される。

（４）その他

●サーカス

モスクワ国立サーカスは、日本ではボリショイ・サーカスとして有名。

ツベトノイ・ブリバールにある「ニクーリン・サーカス」と雀が丘（旧レーニン丘）にある「ボリショイ・サーカス」がある。「ニクーリン・サーカス」は1992年100周年をむかえた。「ニクーリン・サーカス」は、動物がたくさん出演する。

●映画館

プーシキンスカヤ、コダック（キノーミール）等が有名。

7 レストラン

モスクワには数多くの各種レストランがありますが、その中からいくつかご紹介します。

レストラン名等	備 考
和食	
いちばんぼし （Ичибан Боши） ① UL. KRASNAYA PRESNYA 22、TEL:499-790-0379 地下鉄駅：クラスノプレスネンスカヤ ② Leningradsky prospect 72、TEL:977-927-05-02 地下鉄駅：ソコル	味と値段のバランスがとれている人気のレストラン。日本の居酒屋風の店構えで、有料のVIPルームもある。寿司と天ぷらがお薦め。 ① 12:00-23:00(月～日) ② 12:00-22:00(月～金)、13:00-22:00(土日祝)
YAKITORIYA （Якитория） ① UL. NOVIY ARBAT 10、TEL:495-690-4311 地下鉄駅：アルバーツカヤ ② UL. 1 - YA TVERSKAYA - YAMSKAYA 7、TEL:499-250-5670 地下鉄駅：マヤコフスカヤ ③ UL. VALOVAYA 8/188、TEL:495-951-8482 地下鉄駅：パヴェレツカヤ	やきとり、すし、天ぷら等が安価に楽しめる和食のチェーン店。下記他多数。 10:00～05:00（一部～24:00）
丸亀製麺 （Марукамэ） ① UL. PYATNITSKAYA 29、TEL:963-601-8270 地下鉄駅：ノヴォクズネツカヤ、トレチャコフスカヤ ② UL. Sushevskaya 27/2、TEL:967-285-5193 地下鉄駅：ノヴォスラボツカヤ、メンデレエフスカヤ ③ 4-Y Lesnoy Pereulok、 4、 TEL: 903-168-5445	平成25年にオープンした讃岐釜揚げうどん屋。メニューは日本とほぼ同じ。値段は200RUB前後。巻き寿司などもある。右以外にも数店舗あり。 11:00～23:00
夢 （Ю-МЭ） UL. POKROVKA 38A、TEL:495-621-7840 地下鉄駅：クラスナヤ・ヴァロータ	日本人シェフが作っていて味が良く、盛りつけも美しい。値段も手頃。ビジネスランチも多種あり（～17:30）。 12:00～23:45（金・土・祝日前は～01:00）
TSVETENIE SAKURY （ЦВЕТЕНИЕ САКУРЫ） UL. KRASINA 7/1、TEL:499-254-0805 地下鉄駅：マヤコフスカヤ	通称「桜」。店内はそれほど広くなく（50席あまり）落ち着いた雰囲気。ビジネスランチは500RUB程度（～16:00）。 12:00～23:00
NOBU UL. B. DMITROVKA 20/1、TEL:495-645-3191 地下鉄駅：アホートヌィ・リヤド	各国にある和食レストラン。モスクワでも高級。ビジネスランチは500RUBからあり。 13:00～24:00
誠司 （Сейджи） KOMSOMOLSKIY PROSPEKT 5/2、TEL:499-246-7624 地下鉄駅：パールク・クリトゥーリ	日本人シェフの作る和食屋。寿司のネタも新鮮で、高いが美味しいとの定評あり。 12:00～23:00

MEGUMI Novinsky Bur.、8 (Lotte Hotel地下1F)、 TEL:495-287-0520 地下鉄駅：スモレンスカヤ	高級和食レストラン。ドリンクも高いが、料理の味は良い。ビジネスランチは1、450～2、050RUB。
東京 (TOKIO) UL. M. AFANASIEVSKIY PER. 34、TEL:495-691-2656 地下鉄駅：アルバーツカヤ	鉄板焼きスタイルのカウンターで、シェフが見事な手捌きで肉やシーフードを調理してくれる。 12:00～23:30
SUMO-SAN PL. EVROPI 2 (ラヂィツィンSASスラヴヤンスカヤ・ホテル1F)、 TEL:495-941-8841 地下鉄駅：キエフスカヤ	奥に個室があり鉄板焼きが楽しめる。ランチセットあり (～16:00)。 12:00～00:00
その他、中心部ではありませんが、青空 (Leninsky prosp.、38、495-930-5830)、さいぜん (Leninsky prosp.、158、495-234-9220) などの居酒屋風のお店もあります。	
アジア料理	
BELIY ZHURAVL (韓国、Белый Журавль) FRUNZENSKAYA NAB. 14/1、TEL:495-775-0656 地下鉄駅：パルク・クリトゥーリ	2006年に改装し、店内はとても綺麗。チャプチェ (米粉麺の炒め物) や鍋物がお薦め。 12:00～23:30
DRUZHBA (中華、Дружба) UL. NOVOSLOBODSKAYA 4、TEL:499-973-5910 地下鉄駅：ノヴォスラボツカヤ	味が良く値段が手頃。個室がいくつかあり、最大32名の宴会ができる。メニューが豊富で、豆腐料理が美味しい。 10:00～22:00
BAAN THAI (タイ) UL. BOLISHAYA DOROGOMILOVSKAYA 11、TEL:499-240-0597 地下鉄駅：ヴィスタヴァチナヤ	落ち着いた雰囲気のレストランで、店員の対応もよいので設宴に向いている。上品なタイ料理。 12:00～24:00
TAJJ MAHAL (インド) UL. Arbat 6/2、TEL:495-107-9170 地下鉄駅：アルバーツカヤ	ヨーロツパ料理や和食も出すが、カレーが美味しい。内装が豪華。 11:00～05:00
VIET CAFE (ベトナム) ① GAZETNIY PER. 3、TEL:495-629-0830 地下鉄駅：アルバーツカヤ ④ UL. CHAYANOVA 22、TEL:499-250-9191 地下鉄駅：ノヴォスラボツカヤ	市内に数店舗ある。値段も手頃で美味しい。 11:00～06:00
ロシア料理	
DANILOVSKY (Даниловский) B. STARODANILOVSKY PER. 5 タニロフ修道院内 TEL:495-954 - 0566 地下鉄駅：トゥーリスカヤ	修道院内のホテル内にあり、明るく雰囲気の良いレストラン。味も悪くない。 12:00～23:00

USADBA (Усадьба) UL. DOLSKAYA 10 TEL:495-343-1510/1511 地下鉄駅：ツァリーツィナ、オレホヴォ	「ツァリーツィナ」公園内、エカテリーナ女帝の別荘跡の隣にある。かつての屋敷を改装したレストラン。周りのすばらしい風景も一見の価値あり。
ELKI-PALKI (Ёлки-Палки) ① PL. TVERSKOI ZASTAVI 2 TEL:499-251-0467 (11:00~23:00) 地下鉄駅：ベラルースカヤ	ファミレスのような雰囲気のレストラン料理チェーン店。バイキングあり。左記の他支店多数あり。
MU-MU (Му-Му) ① UL. ARBAT 4 TEL:961-838-1713 地下鉄駅：アルバーツカヤ ② M. GNEZDNIKOVSKIY PER.、9 TEL:495-629-3120 地下鉄駅：アホートヌィ・リヤド	セルフサービスのチェーン店。左記の他支店多数あり。 09:00~23:00
KITEZH (Китежъ) UL. PETROVKA 23/10 TEL:495-650-6685 地下鉄駅：チェーホフスカヤ	伝統的なロシア料理。値段もそこまで高くない。 12:00~24:00
DACHA (Дача на Покровке) POKROVSKY BUL. 16/18-4 TEL:499-764-9995 地下鉄駅：クールスカヤ	ロシアの民家のような作り。内装も家庭的で味も良い。値段もそこまで高くない。 金土 12:00~24:00 月火水木日 12:00-23:00
CAFÉ PUSHKIN (Кафе Пушкинъ) UL. TVERSKOI BULIVAR 26A TEL:495-739-0033 地下鉄駅：プーシキンスカヤ	各フロアはそれぞれ名前が付いていて、凝ったインテリアは一見の価値あり。ビール以外のアルコール飲料は高め。値段は高いが美味しい。2階の「ビブリオテーカ（図書室）」は1階より値段が高い。 24時間営業
BOCHKA (Бочка) UL. 1905 GODA 2 TEL:495-651-8110 地下鉄駅：1905年通り	シャシュリクの焼炉の周辺に亘り座席がある。雰囲気良し。値段も手頃。 24時間営業。
中東欧/コーカサス料理	
SHINOK (ウクライナ、Шинок) UL. 1905 GODA 2 TEL:495-651-8101 地下鉄駅：1905年通り	ピロシキなど、美味しい典型的なロシア・ウクライナ料理が食べられる。中央に仕切られた空間には、家畜やロシアのおばあさんがいて、まるで田舎の農家で食事をしているような感じ。 12:00~24:00
U PIROSMANI (グルジア、У Пиросмани) NOVODEVICHY PROEZD 4 TEL:499-255-7926 地下鉄駅：スボルチーヴナヤ	グルジアの有名な画家ピロスmaniの絵に囲まれ、窓外にノヴォデヴィチ修道院を見ながら食事が楽しめる、大衆的な雰囲気のレストラン。 12:00~22:30

PILSNER URQUELL (チェコ、Пилзнер) UL. 1st TVERSKAYA-YAMSKAYA 1 TEL:495-251-2023 地下鉄駅：マヤコフスカヤ	チェコビールの逸品「ピルズナー」の公式レストラン。ボリューム満点の肉料理、甘みを控えたデザートも美味しい。お薦めはグラーシュ（ビーフシチュー）と肉料理の盛り合わせ。市内に数店舗あり。 12:00～01:00
その他	
ACADEMIA (イタリアン、ピザ、Академия) KAMERGERSKIY PER. 2, STR. 1 TEL: 495-692-9649 地下鉄駅：アホートヌィ・リヤド	手頃な価格のイタリア料理でピザ・デザートの種類が豊富。新鮮な野菜をふんだんに使ったサラダが美味しい。他支店多数あり。 11:00～24:00 (平日は09:00～)
GANDHARA (パキスタン、Гандара) UL. ROCHDELSKAYA 15/7 TEL:499-255-9959 地下鉄駅：1905年通り	サービスがとても良く、店内は落ち着いた雰囲気。ホウレンソウカレー、チキンカレー、サモサがお勧め。デザートやウォーターパイプも種類豊富。 12:00～24:00
STARLITE DINER (アメリカン) B. SADOVAYA UL. 16 TEL: 495-650-0246 地下鉄駅：マヤコフスカヤ	店内は1950-60年代のアメリカ風。価格は手頃でサンドイッチの種類が多い。パッファローウィングがお勧め。シェイクも美味しい。市内に数店舗あり。 24時間営業
TGI FRIDAY'S (アメリカン) Zemlyanoy Val St. 33 (ショッピングモール「アトリウム」内) TEL:965-319-2395 地下鉄駅：クルスカヤ	オニオンリングやマッシュルームスープがおいしい。料金も手頃。上記の“STARLITE DINER”よりメニューが豊富。市内に数店舗あり。 10:00～24:00
SCANDINAVIA (スカンジナビアン) M. PALASHEVSKIY PER. 7 TEL:495-937-5630 地下鉄駅：プーシキンスカヤ	スウェーデン直送の高品質な素材を使用したスカンジナビア料理。店内はスウェーデンの家屋をイメージした造りで、夏場はオープンテラスあり。店員の対応は良好。 12:00～24:00
GOODMAN STEAK HOUSE (ステーキハウス) OKHOTNY RYAD 2 TEL:495-210-3210 地下鉄駅：アホートヌィ・リヤド	ステーキだけではなく、炭火でグリルした野菜も美味しい。他、市内に数店舗あり。 10:00～24:00
COFFEE MANIA (カフェ・レストラン、Кафемания) B. NIKITSKAYA 13 TEL:495-781-1690 地下鉄駅：アホートヌィ・リヤド	コーヒーが美味しい。メニューに工夫を凝らしており、ユニークなサラダやチーズを揃えているが、カフェにしては値段はやや高め。他、市内に数店舗あり。 24時間

他に、GINZA-PROJECT (NY やサンクトペテルブルクにも有。 <http://eng.ginzaproject.ru/moscow>) や NOVIKOV GROUP (ロンドンやサンクトペテルブルクにも有。 <http://en.novikovgroup.ru/>) に所属しているレストランも多数あり、雰囲気の良いところが多い。

8 言語事情

ロシアにおいて、ホテル・高級レストラン・空港の職員以外は、英語を解する人は少なく、いくつかのロシア語の単語や日常会話を覚えておくと便利です。一般のロシア人は概して人が善く我々の言葉を理解しようとしてくれますから、こちらが文法を知らなくても、必要な単語をなれば要が足せる場合が多いようです。参考のため、簡単なロシア語を次に挙げておきます。

(1) アルファベット

大文字	小文字	発音	ラテン文字標記
А	а	ア	a
Б	б	ブ	b
В	в	ヴ	v
Г	г	グ	g
Д	д	ドウ	d
Е	е	イエ	ye
Ё	ё	イヨ	yo
Ж	ж	ジイ	zh
З	з	ズ	z
И	и	イ	i
Й	й	イ（短く）	i、y
К	к	ク	k
Л	л	ル	l
М	м	ム	m
Н	н	ン	n
О	о	オ	o
П	п	プ	p
Р	р	ル（巻き舌）	r
С	с	ス	s
Т	т	ト	t
У	у	ウ	u
Ф	ф	フ（上歯を下唇に付けて）	f
Х	х	ハ（喉音）	kh
Ц	ц	ツ	ts
Ч	ч	チ	ch
Ш	ш	シ	sh
Щ	щ	シチ	shsh
Ъ	ъ	発音しない《硬音符》	
Ы	ы	ウィ	y
Ь	ь	発音しない《軟音符》	
Э	э	エ	e
Ю	ю	ユ	yu

Я	я	я	ya
(2) 日常会話			
おはよう	Доброе утро!	ドーブラエウートラ	
こんにちは	Здравствуйте!	ズドラーストヴィチェ	
こんばんわ	Добрый вечер!	ドーブリィ ヴェチエル	
さようなら	До свидания!	ダスヴィダーニャ	
おやすみなさい	Спокойной ночи!	スパコーイナイ ノーチ	
はい	Да.	ダー	
いいえ	Нет.	ニエツト	
どうぞ	Пожалуйста!	パジャールスタ	
ありがとう	Спасибо!	スパシーバ	
失礼	Простите!	プラスチーチェ	
どこ	Где?	グジェ	
いつ	Когда?	カグダー	
これは何ですか?	Что это?	シュトー エタ	
いくらですか?	Сколько стоит?	スコリカ ストーイット	
トイレはどこですか?	Где туалет?	グジェ トゥアレエート	
あなたのお名前は?	Как ваша фамилия?	カク ヴァーシャ ファミーリヤ	
私の名前は・・・。	Моя фамилия ・ ・ ・ .	マヤー ファミーリヤ ・ ・ ・	
・・・が欲しい。	Я хочу ・ ・ ・ .	ヤー ハチュー・・・	
・・・を下さい。	Дайте мне ・ ・ ・ .	ダイチェ ムニエ・・・	
頭（腹）が痛い。	У меня болит голова (живот). ウ ミニャー バリート ガラヴァー (ジヴオート)		
風邪をひいた。	Я простудился. / Я простудилась. (男:ヤー プラストウジールスヤ / 女:ヤープラストウジーラシ)		

医者	доктор	ドクター
薬	лекарство	リカールストヴァ
熱	температура	チンピラトゥーラ
昨日	вчера	フチェラー
今日	сегодня	スイヴォードニャ
明日	завтра	ザーフトラ
朝に	утром	ウートラム
昼に	днём	ディニヨム
夕方	вечером	ヴェーチェラム
水	вода	ヴァダー
鍵	ключ	クリューチ
部屋	комната	コームナタ
飛行場	аэропорт	アエラポールト
ホテル	гостиница	ガスチーニツツァ
通訳	переводчик	ペレヴォーッチク

1	2	3	4	5
один	два	три	четыре	пять
アジーン	ドウヴァー	トゥリー	チティーリ	ピヤーチ
6	7	8	9	10
шесть	семь	восемь	девять	десять
シェースチ	セーミ	ヴォーセミ	ジェーヴァチ	ジェーシャチ

Embassy of Japan／Посольство Японии

Grokholsky Pereulok 27／Грохольский переулок 27

TEL:7-495-229-2550